

第1回 燕市産業振興協議会 議事録

日 時：令和5年10月4日(水)

13時30分～15時00分

会 場：市役所3階 301会議室

参加者：鈴木会長（燕市長）

星野委員（吉田商工会 会長）

高野委員（分水商工会 会長）

小林委員（日本金属洋食器工業組合 理事長）

池田委員（日本金属ハウスウェア工業組合 理事長）

矢代委員（協同組合つばめ物流センター 代表理事）

阿部委員（燕商工会議所 工業部会 直前部会長）

遠藤委員（燕商工会議所 小売商業部会 副部会長）

本間委員（吉田商工会 商業部会 部会長）

中島委員（分水商工会 副会長）

平原委員（分水商工会 商業部会 副部会長）

中静委員代理中上氏（第四北越銀行 燕支店長）

池内委員（協栄信用組合 理事長）

杉本委員（巻公共職業安定所 所長）

佐藤委員（公益財団法人燕三条地場産業振興センター 専務理事）

事務局：産業振興部長、商工振興課長、観光振興課他

会議次第：

1. 開 会

2. 会長あいさつ 燕市長 鈴木力

経済界の状況を情報共有しながら勉強させていただきたい。前回に新年度予算の状況を説明させていただいた。今回はその進捗状況報告と来年に向けて何か新しいことをやる必要があるのかどうかを議論していきたい。

3. 議 題

(1) 燕市の今年度事業の展開等について（報告）

燕市産業振興部商工振興課及び観光振興課より燕市の今年度事業の展開等について報告があった。

また、地域活性化企業人として燕市に席をおいている株式会社イードア

西谷氏から挨拶があった。

(2) 新年度施策に向けた意見交換

■暑さ対策について

- ・研磨工程がある工場では埃を吸ってしまうのでファン付き作業着はあまり使えなかった。建設現場でも同様。
- ・効果的だったのはサマータイム。休憩時間を延ばす、終了時間を 30 分早めて帰宅させるのが効果的だった。

■人材不足について

- ・人材の確保と賃金を上げることが一番の課題。
- ・外国人雇用のニーズが高まっている中で、外国人に来てもらうためには外国人の労働者を大事に扱い、環境整備を整え、宿舍も用意する必要がある。それに加えて、そういった境遇で来ている外国人たちが集まって情報交換できる場の整備が必要。
- ・燕市で外国人の受入れの体制があり、サポート体制もあるという情報配信をしていくことで、外国人に興味を持ってもらう地域になる。
- ・県全体の雇用保険被保険者（週 20 時間以上働く方）がここ 5 年でピーク時に比べて 10 万人減ってきている。その中で、燕市は当初より 1000 人ほど増えている。雇用者数が増えているということは、県全体で減る中で明るい一つの状況。
- ・高校生の応募状況を見ると、一層休日を要件として応募している傾向。また、就業環境、空調なども決め手になっている。

■小売商業について

- ・ラーメン祭りも良い取組だが、ラーメン横丁など市内のラーメン店を 1～2 日集めてイベントをするなど、燕の背脂ラーメンを発信できると良い。
- ・分水地区では来年のおいらん道中に向け、地元住民、商工会、自治会、観光協会、観光振興課など関係者を交えて協議している。

■空き家空き店舗について

- ・空き家バンクで成立したのは年間 20 件ほど。20 件解消してもまた同じぐらい空き家が出る状況だが、燕市の空き家対策は様々取り組みを行っている。年 2 回の相談会もその一つ。
- ・空き店舗は、シャッターはおりているが、住居兼用の状況もあり、完全に空き店舗として貸し出すには難しい事情がある。

■DX、SDG s について

- ・2021 年 6 月政府が成長戦略実行計画公表。5 年後までに紙の約束手形、小切手、約束手形の利用の廃止、小切手の全面的な電子化が盛り込まれた。また、2026 年 6 月から 2027 年の 4 月以降を期日とした、手形や小切手の取立ての受付を取りやめることになる。管理部門での DX という流れは確実に起こっているし、これに対応しないと商売をやっていけない状況。管理部門の DX これに関しては各企業様が積極的にやっぱり押し進めていく必要がある。
- ・カーボンニュートラルを進めていく中で、二酸化炭素排出量の算定は各事業所に進めていくべき事項である。

4. その他
特になし。

5. 閉 会

- 参考資料 1 地域の人事部・外国人材受入相談支援事業 取り組み紹介
参考資料 2 イノベーション拠点整備事業 取り組み紹介
参考資料 3 燕ソウルフード観光プロモーション事業
(燕背脂ラーメンシール祭り)